

新春を迎えて

公益社団法人 岐阜県都市整備協会

会 長 細 江 茂 光



新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しく平成 27 年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、日本経済は、政府が「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を「三本の矢」として、新たな経済政策（アベノミクス）に一体的に取り組んできた結果、株価は上昇し、大企業を中心に業績は回復しつつあったものの、平成 26 年 4 月の消費税増税に伴い、実質経済成長率が 2 期連続でマイナスに落ち込んだことから、消費税率 10% への引き上げは一年半延期されるなど、景気の見通しは不透明なものとなっています。

また、我が国の人口は、平成 20 年の約 1 億 2,800 万人をピークに減少局面を向かえ、2050 年には 1 億人を割り込むと推計されています。

このような人口減少は、地域の強みであるコミュニティの衰退を招き、既存の社会基盤が非効率となるなど、地域経済や社会へ大きな影響を与えることから、経済社会情勢の変化に応じた都市の再構築（リノベーション）を行う必要があります。

そうした中、当協会は、まちづくり事業の補完支援を行う県内で唯一の公益社団法人として、時代の要請に果敢に挑戦し、土地区画整理事業等による中心拠点、生活拠点の形成促進に大きく寄与していきたいと考えております。

こうした今日的な情勢に対応しつつも、地域固有の歴史、文化、伝統を踏まえ、住民のニーズを的確に把握し、最適な事業手法を提案するとともに、その企画・指導・管理に携わることで、総合的なまちづくりの推進に、今後とも、役職員一丸となって取り組んでいく所存であります。

会員の皆様には、当協会の事業推進のため、引き続きご理解、ご協力を賜りますとともに、当協会の積極的な活用をご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、会員の皆様のご活躍、ご健勝と、各地の土地区画整理事業の円滑な進展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。